ホテル エーゼット
HOTEL AZ だより 2026年 冬編
Vol.23 令和8年1月号
ご自由にお持ち帰りください

人・時めぐり逢い紀行⑱

うきは市は、福岡市から高速道路利用で約1時間ほど。フルーツ王国として知られ、フルーツ自慢のカフェやフルーツ狩り、歴史ある白壁地区、神社など穴場的な見どころ、味どころ満載のまちです。そんなうきは市の「今」とちょっと未来の楽しみなお話を権藤英樹市長に伺います。

［発行問い合わせ］
株式会社アメイズ 福岡事務所
TEL:092-605-3321 FAX:092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2
令和8年1月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

福岡県 うきは市

うきは市の人口は27,774人。世帯数:11,464世帯（2024年時点）。2005年に旧浮羽町と旧吉井町が合併して誕生しました。福岡県の南東部、九州最大の平野である筑後平野の東端に位置し、筑後川と耳納（みのう）連山に挟まれた豊かな自然は、農業だけではなく、商工業、歴史ある街並みを育み、現代に受け継がれています。

人時邂逅（ひとときかいこう）

穴見 賢一（KENICHI ANAMI）
株式会社アメイズ 代表取締役社長

1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国91店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。趣味はロードバイク、カメラ、ラジコン（車、飛行機）。

権藤 英樹（HIDEKI GONDO）
福岡県うきは市市長

1975年生まれ。福岡県うきは市出身。福岡大学法学部法律学科卒業後、株式会社リンガーハット、筑豊電気鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社勤務を経て、2022年、うきは市議会議員、2024年、うきは市長に就任。現在に至る。

最高級品も作り出すフルーツ王国

穴見 うきは市のことを事前にリサーチしていましたら、貴市の公式マスコットキャラクター「うきぴー」のインスタグラムがありました。結構な頻度で更新されているようですね。

権藤 「うきは」と「ハッピー」を合わせて「うきぴー」といいます。彼は当市のうきはブランド推進課の職員なんです（笑）。数年前に行われた全国的なゆるキャラグランプリではネット投票で10位くらいになったこともある人気者です。先日も東京に連れて行ったところです。

うきは市の公式マスコットキャラクター「うきぴー」

穴見 うきぴーは、柿ですよね？

権藤 はい、正確には柿の妖精で、フルーツ王国といわれる当市を代表してもらっています。

穴見 柿の生産量が多いのですか？

権藤 甘柿の生産量は、福岡県がナンバーワンで、そのうち6割がうきは市と久留米市田主丸町で構成されるJAにじ管内で生産されています。1玉数千円するものもある「秋王」という高級ブランドも誕生しています。柿が終わると、12月末からゴールデンウイーク前後まではイチゴ。イチゴシーズンが終わると、次は桃やブルーベリー、7月からはブドウや梨と一年中フルーツが収穫できます。「フルーツ王国うきは」といわれるゆえんです。

宿場町情緒が漂う白壁地区（吉井町）を歩けば…

穴見 フルーツを使ったスイーツやお洒落なカフェもたくさんあるようですね。

権藤 吉井町には、江戸時代からの白壁の町並みが続く白壁地区があり、今、大変人気です。最近は古い建物にカフェやスイーツショップが入り、人気のお店に行列ができるほどです。観光客も若年層が増えたと実感します。韓国、台湾を中心にインバウンドもかなり多いです。浮羽町には浮羽稲荷神社があり、これも韓国の方のSNSでバズってから、非常に多くの観光客が訪れるようになっているようです。

美味しい麺の名産地

穴見 中心産業は農業だと思いますが、それ以外にも振興してきた産業はあるのでしょうか？

権藤 昔からの産業といえば、農業なのですが、当市は商工業も長く隆盛を誇る分野があるんです。

穴見 そうなんですね。

権藤 小麦がたくさん採れる地域だったので、製麺業が栄えてきました。うきは市は長崎の島原そうめん、佐賀の神埼そうめんと並ぶ九州三大麺どころの一つに数えられます。吉井町には製麺企業がいくつかあって、今も手延べによるそうめんがつくられています。また、工業団地があり、市境の工業団地には資生堂とダイハツ、別の工業団地には日本精工や筑水キャニコムなど世界的なシェアを誇る企業があります。九州全体が自動車関連産業で賑わっているので、今後も工業団地を造成しながら自動車関連産業の誘致も進んでいくでしょう。私も旗振り役として、農業だけに依存するのではなく、バランスの良いまちづくりをしていきたいと考えています。

風味抜群の手延べそうめん

教育と子育て環境の充実で移住したくなるまちづくり

穴見 豊かな自然に恵まれ、企業誘致も進むということであれば、移住地としても魅力的ですね。

権藤 これまではフルーツなどさまざまなブランド化を軸に、外からのお客様をおもてなしする観光に力を入れてきました。観光地としての一定の認知度を得た段階で、私が市長のバトンを受け取ったわけですが、今後は観光業の隆盛も維持しながら、人口減少対策にしっかり取り組んでいきたいと思っています。市長就任後、とくに注力しているのが、子育てしやすい、子どもたちが育ちやすいまちづくりです。県南地区では一番乗りで子どもの医療費を18歳まで無料としました。こうした経済サポートを軸に出産前から高校卒業まで、きめ細やかな子育てサービスを展開していく計画です。学校を再編して新たな仕組みに基づく小中一貫校も新設予定です。

穴見 教育移住の候補地としても注目されそうです。

権藤 生活環境的、自然環境的には活き活きノビノビと暮らしていただける自信はあります。暮らしやすさの優位性を組み合わせてさまざまな提案をしていきたいですね。

旬のフルーツ狩りが楽しめる！観光農園も四季折々に開園

甘柿を筆頭に、イチゴ、桃、ブドウ、梨、イチジク、キーウイ、ドラゴンフルーツと1年中フルーツが収穫できるうきは市。こんな産地は全国的にも珍しいそうです。旬に合わせて観光農園も次々と開園します。もぎたての本当の美味しさを知るなら、フルーツ狩りが一番！

お目当てのスイーツ店を探すならココ！→

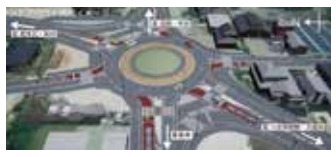
江戸時代、うきは市の中心部・吉井町は、久留米有馬藩と日田天領を結ぶ豊後街道の宿場町として栄えました。時代は移って現代、八女市に抜ける合瀬耳納トンネルやラウンドアバウトの完成によって人々や文化の往来が活発化しています。
八女は八女茶で有名ですが、うきは市にも製茶業の盛んな地域があり、両市間でお茶の交流があります。また、日田市には当市の白壁地区のような伝統的建造物の保存地区があります。八女市長や日田市長と3市の魅力や共通点を融合し、新しい文化圏を作ろう！という夢を語り合っているところです。

自社ブランド馬肉を提供

吉井・白壁の町並み

江戸から大正時代に建築された漆喰塗の町屋と土蔵が並び、文化庁「伝統的建造物群保存地区」に指定されています。九州三大麺どころとしての歴史をつなぐ有名な製麺所や古民家を活かした宿、カフェやショップが軒を連ねます。まちに張り巡らされた水路も風情たっぷり。

交通政策がまちをデザインする！「ラウンドアバウト」



県道八女香春線の高見交差点は、6つの道が入ってくる複雑な交差点でした。この交差点が信号のない環状交差点に生まれ変わったのが2025年3月。全国的にも規模が大きく、しかも、筑後地域初のラウンドアバウトとして注目を集めています。
ラウンドアバウトは信号待ちせずに順番に入っていけるので、渋滞がなくなり、車両は自然と低速になるため、大きな事故が起こりにくいことが報告されています。2年に1回開催される「ラウンドアバウトサミット」が2026年、うきは市で開催されることに決定！

超強力パワースポット！浮羽稲荷神社と松尾神社

山の斜面に鳥居が並ぶ景観は圧巻！　300段の階段を登り、参拝します（本殿まで車でも行けます）。浮羽稲荷神社の本殿左裏手の石段を下りたところにある松尾神社もぜひお参りください。水がきれいなうきは市は昔はたくさんの酒蔵があり、醸造の神として有名な京都の松尾大社から勧請してこの神社が創建されました。
ご神体は巨大な岩石。冷厳な雰囲気が漂うパワースポットです。

松尾神社

浮羽稲荷神社

400年以上の歴史を刻むつづら棚田

新川・葛籠（つづら）地区の山あいにある棚田です。山の石を用いて精巧に積み上げられた石組みの多くは約400年前のものだそうです。毎年9月になると、あぜ道に彼岸花が咲きそろい、いつもに増して美しい農村景観を披露してくれます。
「日本棚田百選」「つなぐ棚田遺産」認定地。

対談の後の美味しいこぼれ話

穴見 今日は、権藤市長をお伺いする前に、自家牧場で育てた馬肉をいただける「馬庵（ばあん）このみ」というレストランでランチをしてきました。馬刺しが新鮮で美味しかったです。

権藤 ジビエ料理の人気店もあるんですよ。こちらも加工場が運営しているレストランで、引き立てのイノシシ肉、鹿肉、アナグマ肉などが供されます。まったく臭みがないので非常に喜んでもらえるようです。
また、山手のほうには自家製のハム・ソーセージを作っている「イビサスモークレストラン」というイタリア料理店があります。福岡北九州都市圏からもたくさんのお客様がいらっしゃいます。

穴見 うきは市は食の豊かなまちですね。

権藤 「うきはブランド」の力が奏功していると思います。実店舗を構えなくても、無店舗営業で商売する方が多いのも「うきはブランド」がある強みです。道の駅やJAの直売所への出品やネット販売によるグルメファンも増加中です。今週末もJAの産直所の敷地をお借りして、台湾の方との交流物販イベントが開催されるのですが、無店舗販売の方を含め60前後の店舗が出店します。お目当てのものが勢揃いするこの機会を楽しみにしている市内外の人も多いんです。また、吉井町の白壁地区の空家を活用して、週替わりの貸店舗や貸し調理室を運営できないかと市で模索しているところです。
これからますます観光的な賑わいも増幅していくと思いますので、ぜひAZさんに宿泊し、うきは市を堪能していただければと思っています。

穴見 未来への新たなチャレンジも聞かせていただいて、私たちも楽しみになりました。いろいろなシーンでお役に立てるよう、よりよいホテルづくりに励んでまいりたいと思います。